



堺化学工業株式会社

電子材料
事業戦略説明会

2025年12月1日

【東京証券取引所・プライム市場 証券コード：4078】

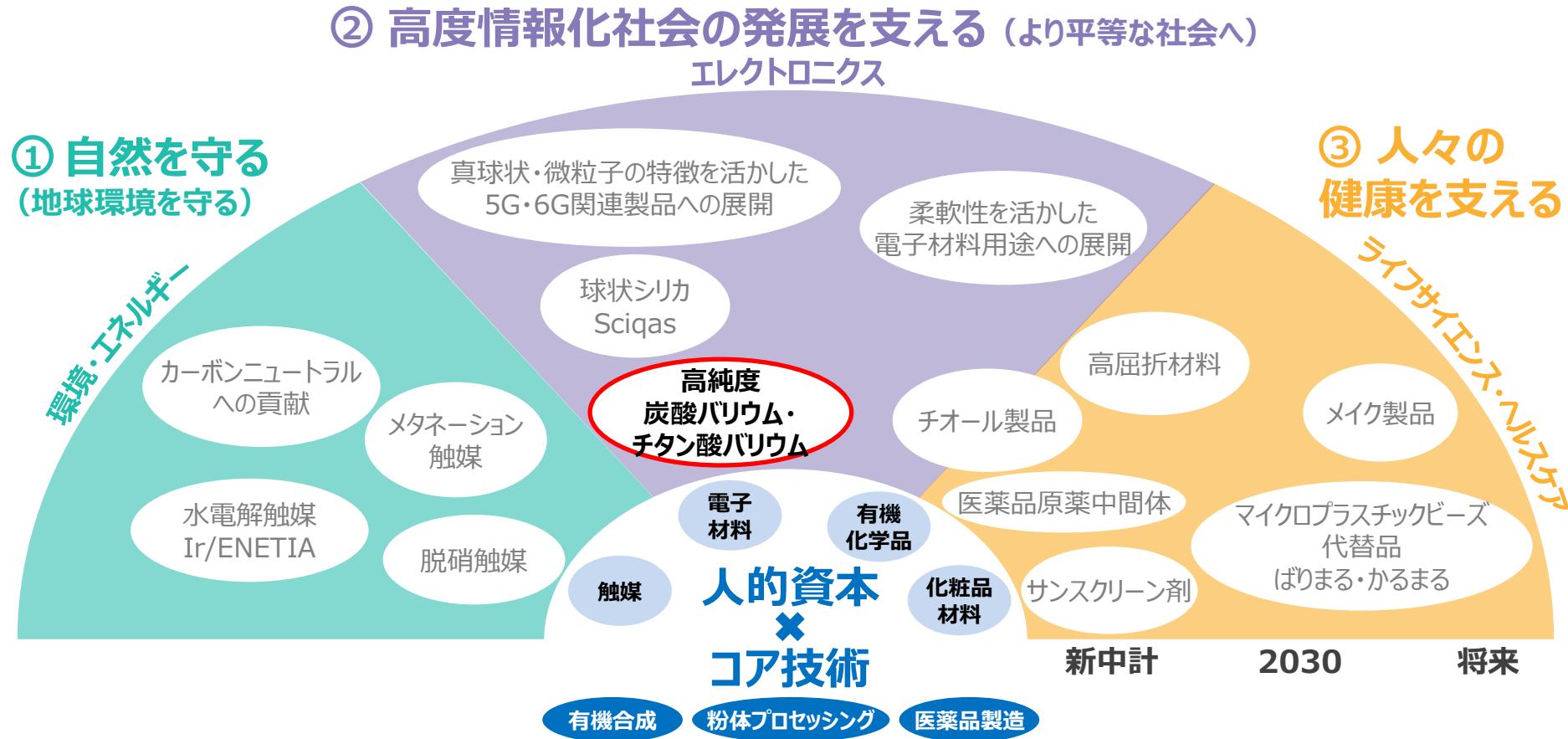
本日お伝えしたいこと

当社は2024年4月からスタートした中期経営計画
「変革・BEYOND2030」に取り組んでいます

その中で成長事業として位置付けている電子材料における
堺化学の特徴と強み、市場の構造変化とトレンドについて、
本日はご紹介いたします

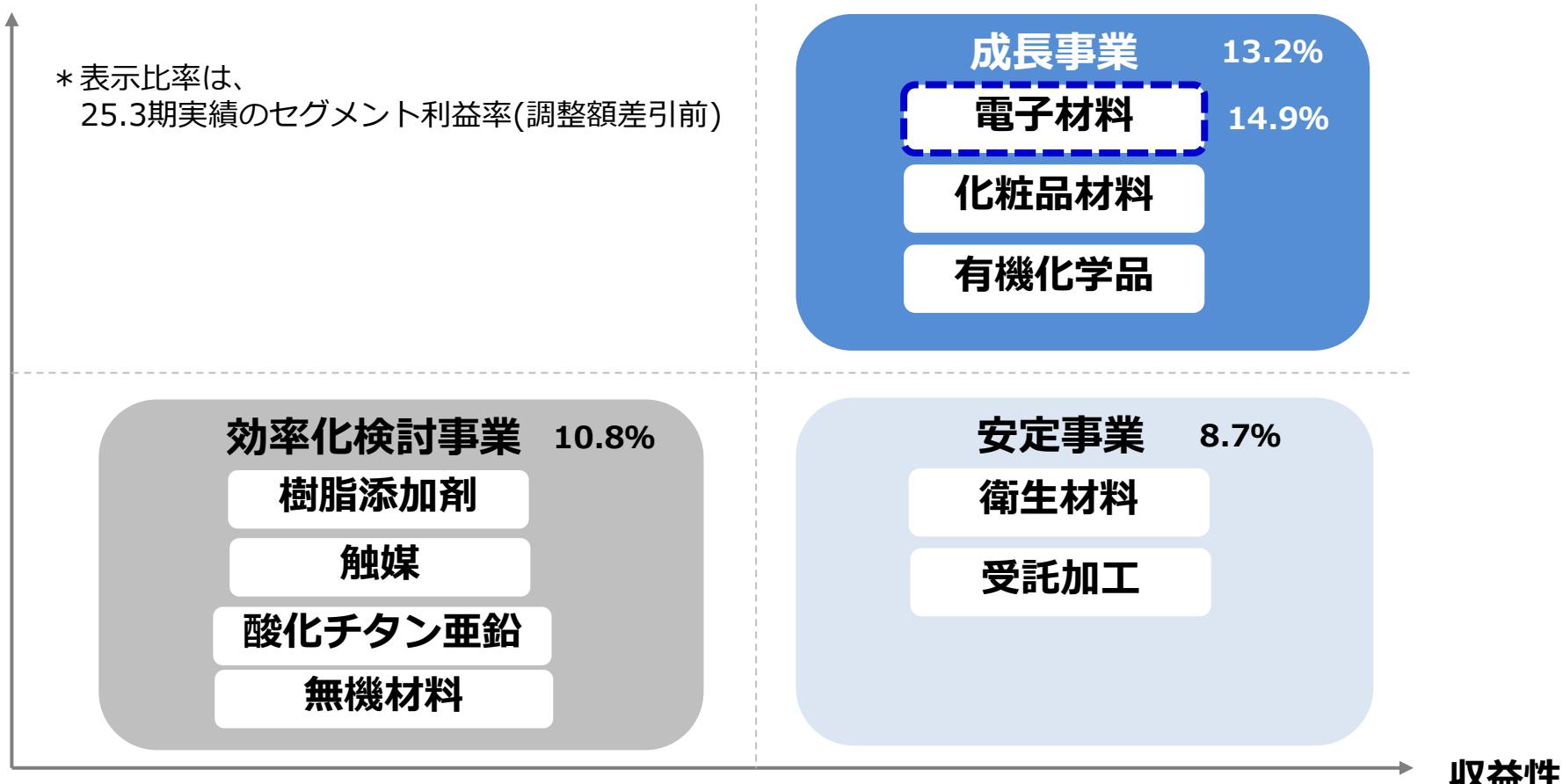
電子材料事業の位置づけ

攻める3分野の「エレクトロニクス」領域の中心を担う



電子材料事業の事業ポートフォリオ上での位置づけ

電子材料事業は、成長事業の中心的存在として、今後も注力していく
事業の成長性



出所：中期経営計画「変革・BEYOND2030」

粉体プロセッシング技術による強みを最大限活用する

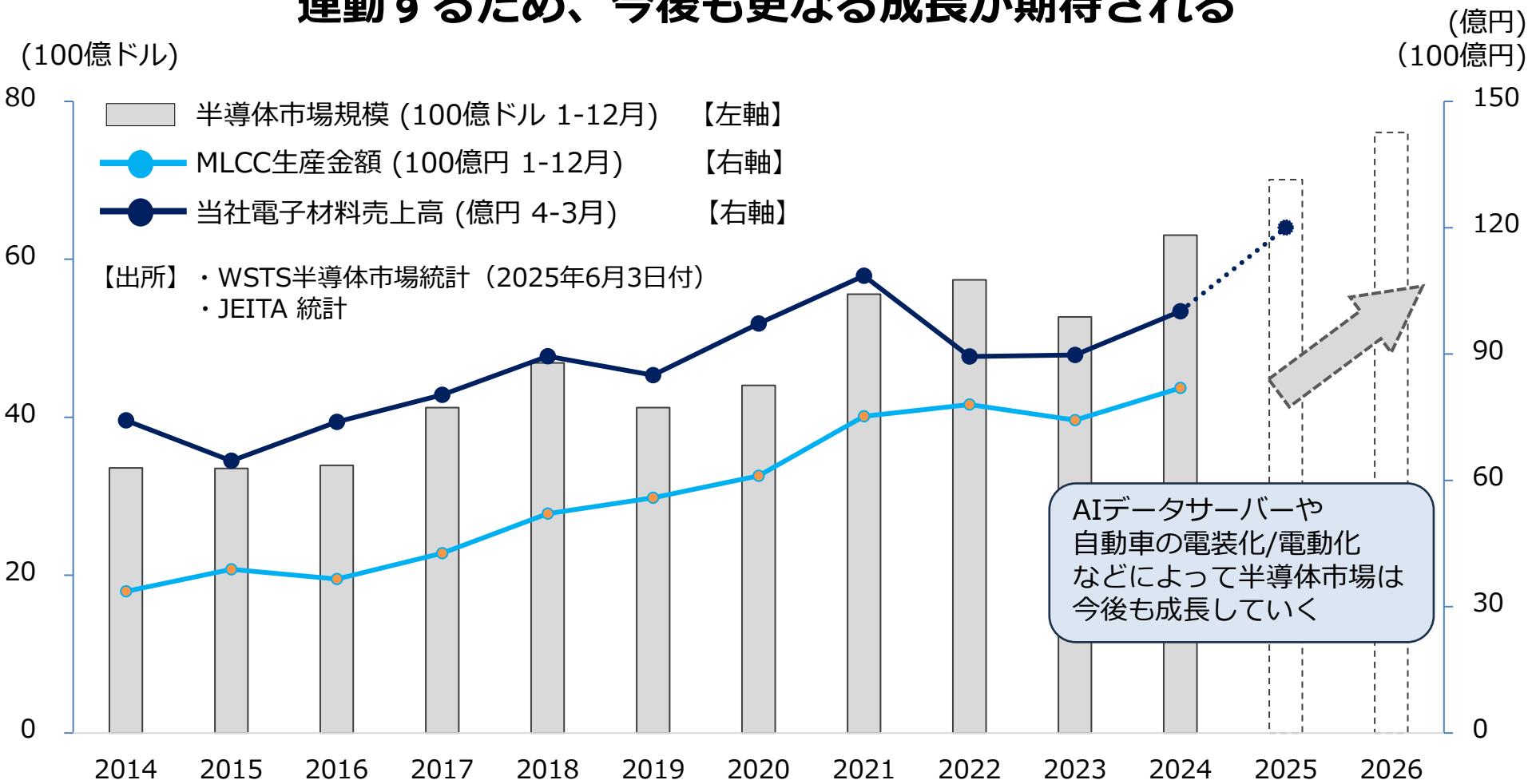
粉体プロセッシング技術で市場のトレンドに応え、
エレクトロニクス分野の発展に貢献していく

	誘電体	誘電体材料
外部環境	<ul style="list-style-type: none">・変化①：電子デバイスの小型化 → MLCCの小型化・変化②：電子デバイスの高機能化(大容量化/高性能化) → MLCCの更なる小型化・変化③：新たな電子デバイスの台頭 → MLCCの更なる高品質化・高信頼性	
当社の強み	<p>高品質な誘電体&誘電体材料を創りこめる「粉体プロセッシング技術」</p>	
当社の戦略	<ul style="list-style-type: none">・均一で微粒子な材料の提案力 微粒子化に最適な水熱合成法を採用	<ul style="list-style-type: none">・高いシェア/豊富な製品ラインナップ 顧客の求める品質水準への対応力と信頼性
	<ul style="list-style-type: none">・ハイエンドMLCC向けシェア拡大 粉体プロセッシング技術を活用し、 更なる微細で均一な誘電体開発を通じた ハイエンドMLCC領域でのシェア拡大・市場トレンドに応じたシェア拡大 デジタル化の進展によりデバイスの多様化が予想されるなか、幅広い製品ラインナップの強みを活かしたシェア拡大	

半導体市場/MLCC市場/当社電子材料事業の売上高

市場顧客

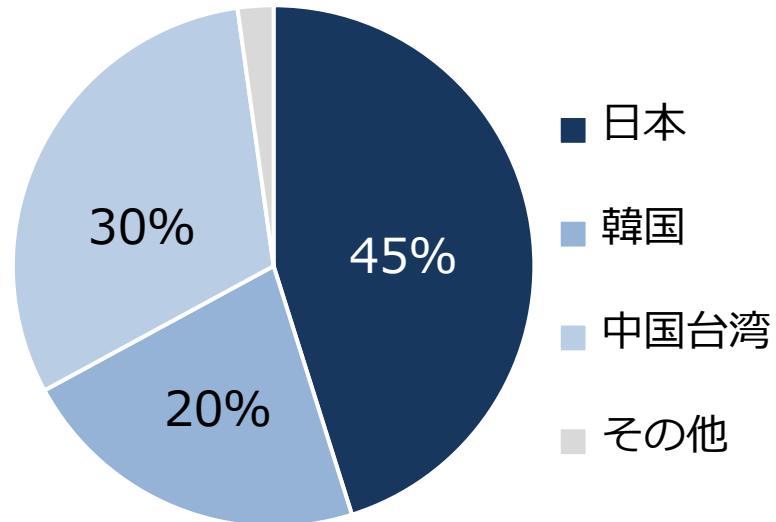
電子材料事業の売上高は、半導体市場及びMLCC市場の動きに連動するため、今後も更なる成長が期待される



* 当社電子材料売上高に関しては、2024年より新報告セグメントによる売上高を記載

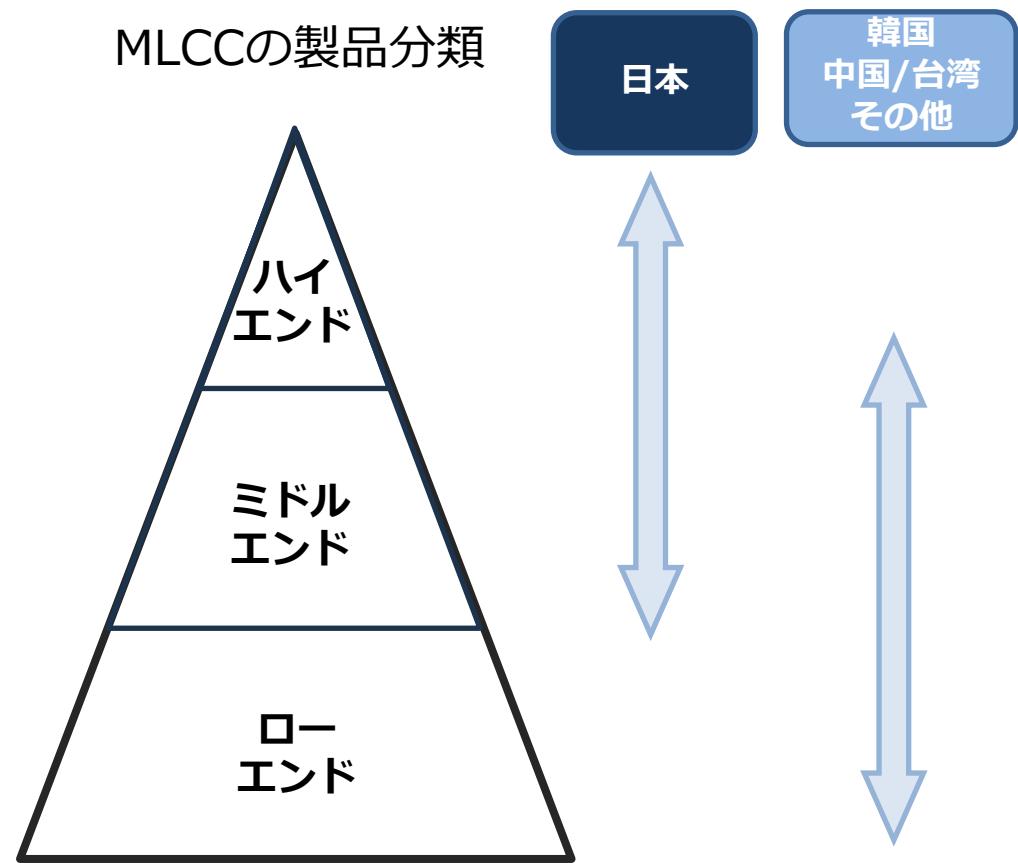
日本勢がメインを占めており、市場の上位グレードを牽引している

【地域別MLCCシェア割り】



* MLCC生産個数比率 (当社推計)

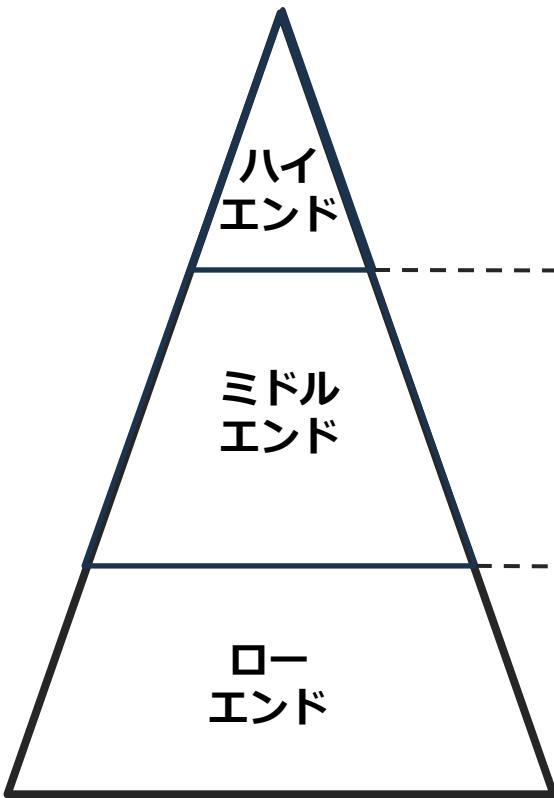
【グレード別・地域別MLCCシェア割り】



MLCC製品分類別の材料要求特性

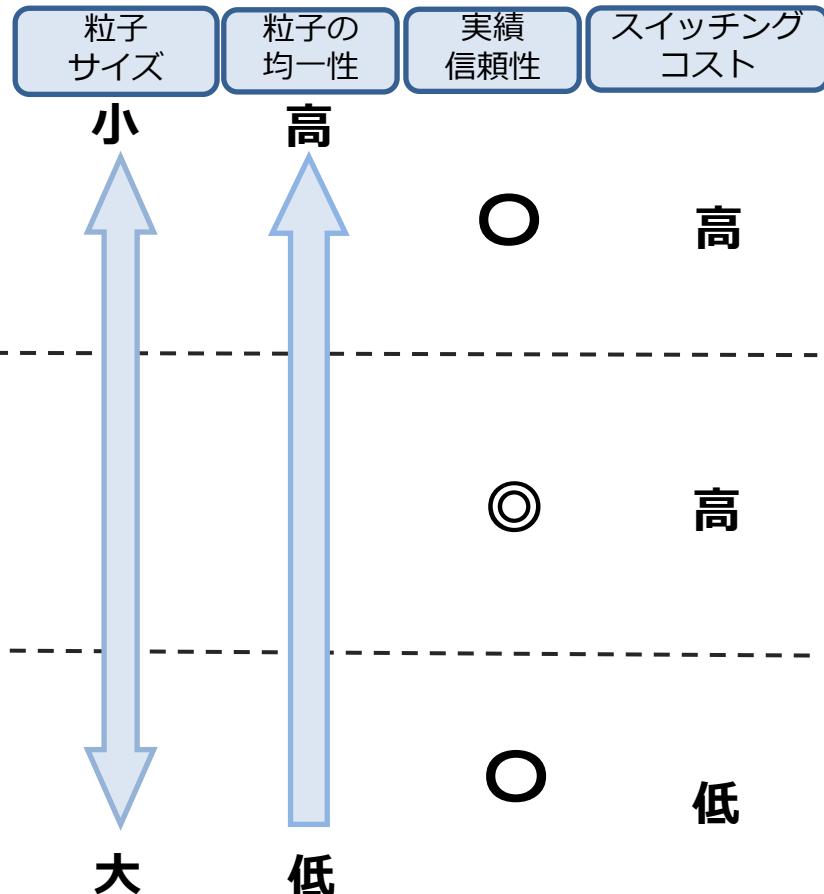
当社のターゲットは、「ハイエンド～ミドルエンドクラス」

MLCCの製品分類

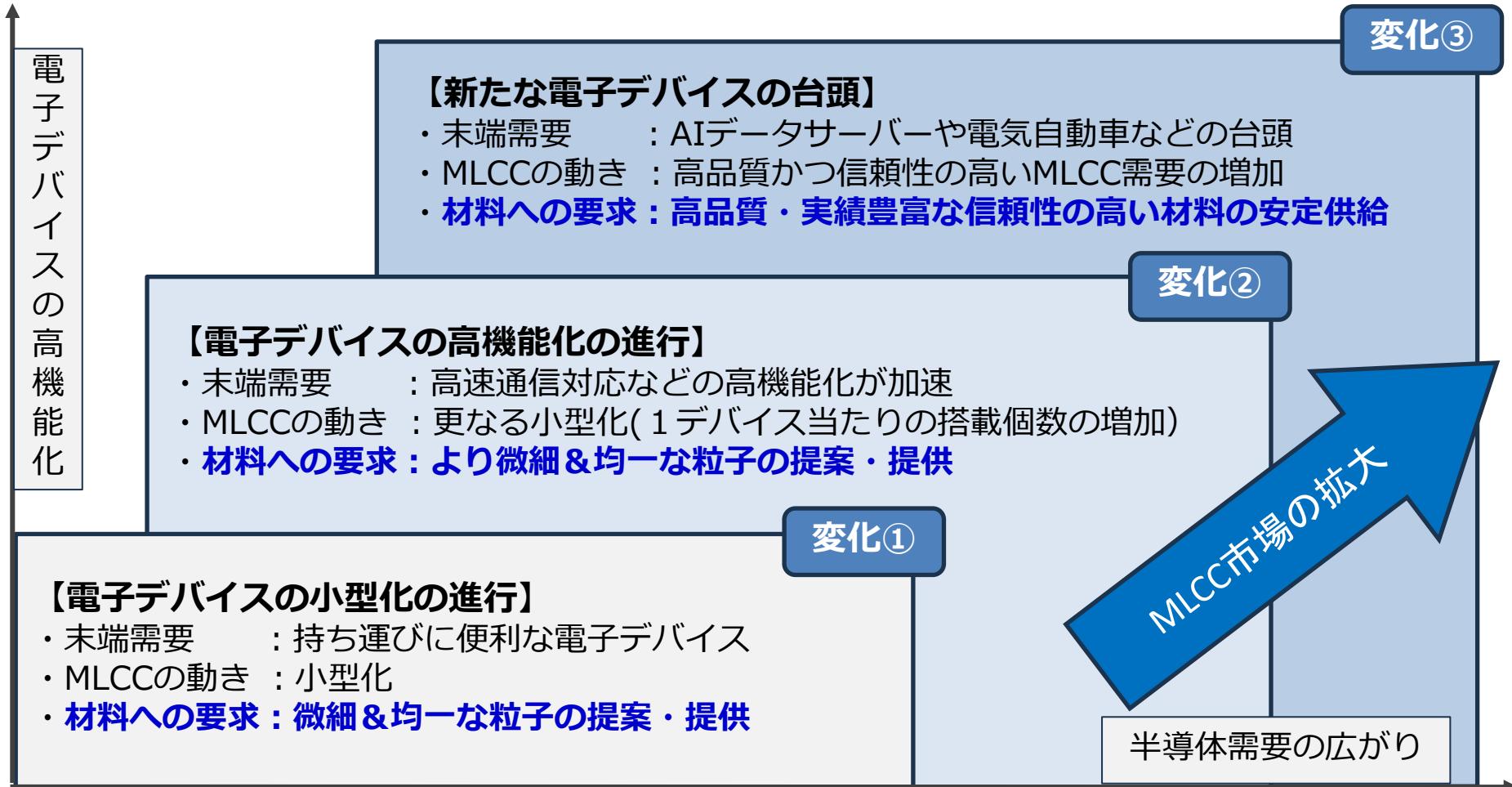


- ・主に、最新の民生向け
- 次世代スマートフォンや
AI関連等
 - ・高品質な材料が求められる
-
- ・民生、車載向け
 - ・品質/実績/信頼性ともに
バランスよく求められる
-
- ・用途の裾野は広い
 - ・価格競争が厳しい

誘電体・誘電体材料への要求特性



電子デバイスの高機能化や新たなデバイスの台頭により、
MLCCの需要が広がると同時に、使用される材料への要求も変化していく



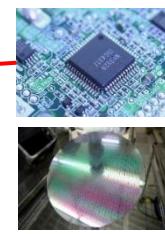
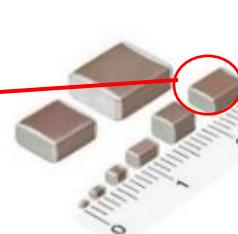
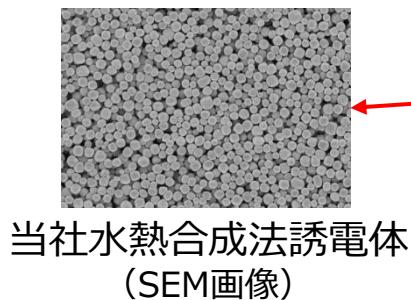
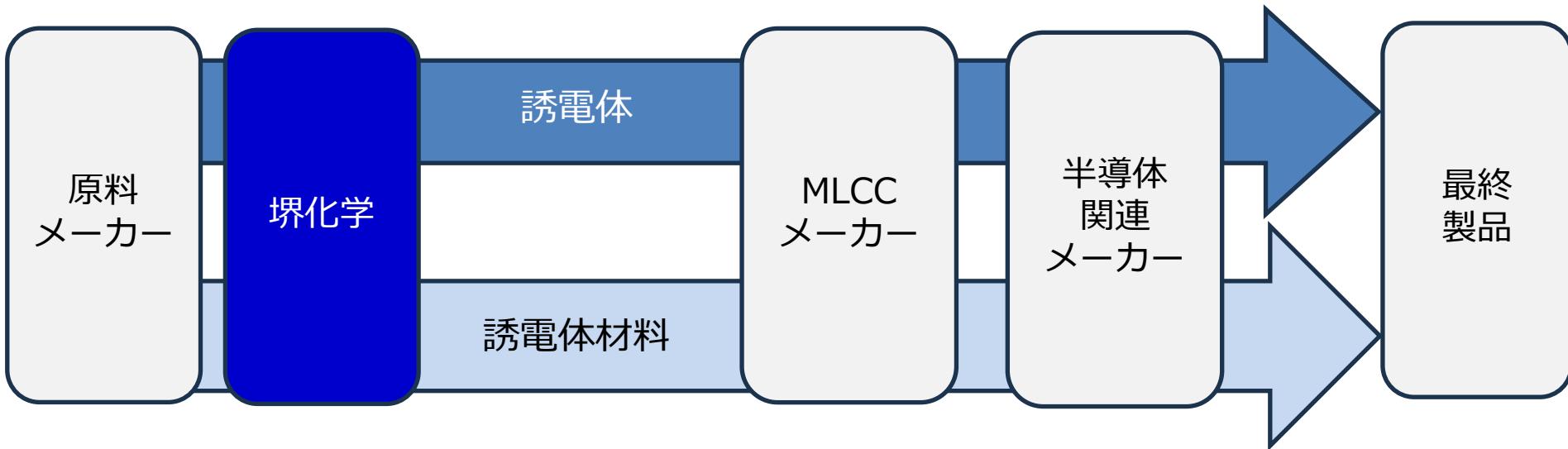
市場顧客動向のまとめ

電子デバイスの高機能化に即し、搭載されるMLCCの
小型化・大容量化/高性能化・高信頼性 需要が高まっており、
それに見合った誘電体/誘電体材料が求められている

	当社に求められる 対応	MLCC側での動き	電子デバイスの 主な変化 トレンド
変化 ①	「微細」で「均一」な 粒子の提案・提供	MLCCの小型化	小型化
変化 ②	「より微細」で「より均一」な 粒子の提案・提供	MLCCの更なる小型化	高機能化
変化 ③	「高品質」&「実績豊富」な 信頼性の高い製品の安定供給	高品質化・高信頼性	新たなデバイスの 投入

サプライチェーンについて

MLCCは、半導体と密接にかかわっており、スマートフォンやPC、自動車関連など、幅広い電子デバイスに搭載されている



誘電体・誘電体材料を併せ持つ当社の強み

誘電体及び誘電体材料の2製品を併せ持ち、
MLCCメーカーとより多くの接点を有する

誘電体製法

誘電体材料メーカー

誘電体メーカー

MLCCメーカー

水熱
合成
法

堺化学 等
数社

固相法

堺化学 等
数社

シュウ
酸法

他社

内製
誘電体

MLCC

当社の電子材料に関する強み

市場トレンドに合致した高品質な製品を供給し続ける
粉体プロセッシング技術を有する

誘電体の強み

- ・均一な微粒子の開発力

水熱合成法が得意とする、
均一な微粒子の合成力を活
かしたハイエンド領域での
特徴を持った誘電体の提案
力がある



誘電体材料の強み

- ・固相法領域での高いシェア
- ・豊富な製品ラインナップ

MLCC業界の主流である
固相法向け誘電体材料と
豊富な製品ラインナップで
業界のトレンドに応え続けてき
たシェアを拡大している



当社の強み

粉体プロセッシング技術

粒子の微細化・均一化及び、グループ会社である堺商事(株)による原料面の安定調達を含め、
各製品の安定供給力&開発力を有する

誘電体の製法による差異

当社が用いる水熱合成法は、MLCCの高機能化に有利な、「微粒子」かつ「粒子の大きさが均一」な誘電体を合成しやすい

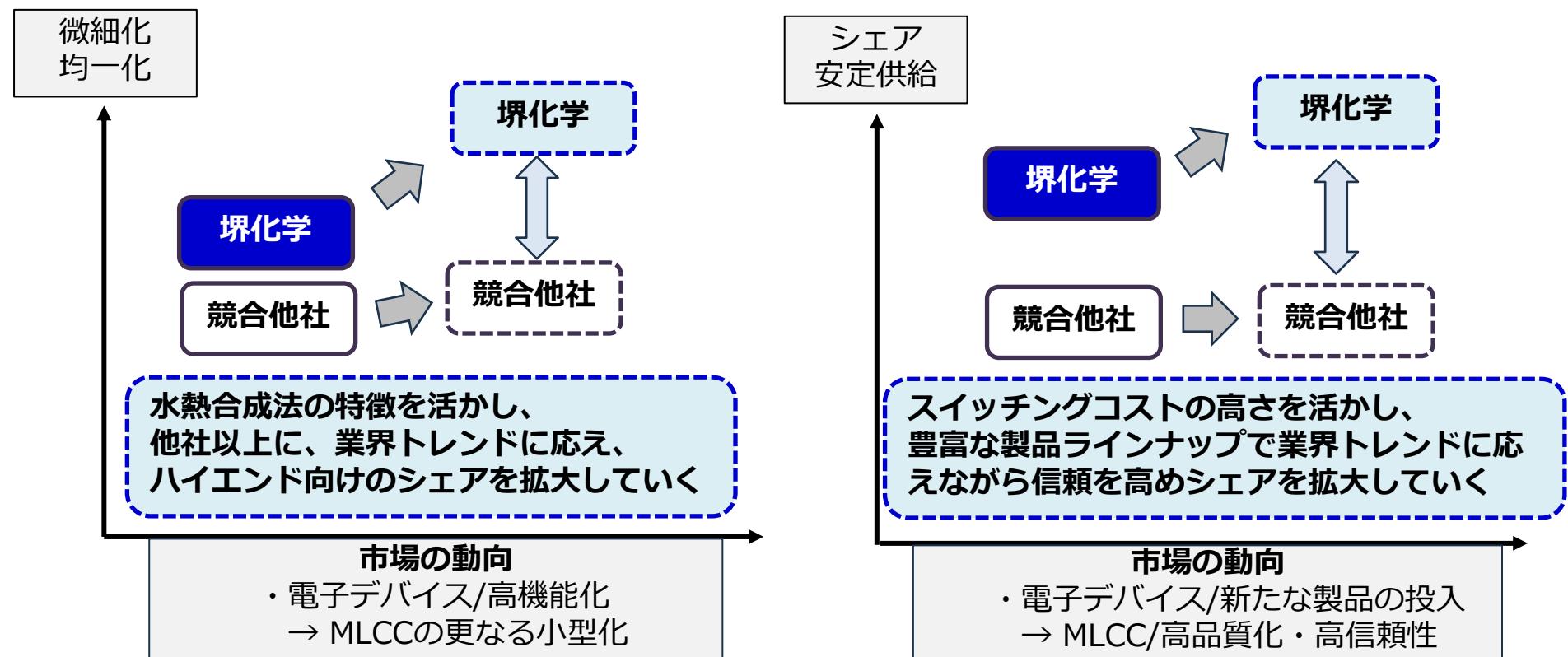
	水熱合成法	固相法	軫酸法
特徴	微粒子 / 粒子の均一性	多成分系	組成均一性
粒子サイズ	極小～中	小～大	小～中
粒度分布 (均一さ)	◎	○	◎ ~ ○

競合他社との関係性と競争優位性

誘電体・誘電体材料、それぞれの強みを活かし、
優位なポジショニングで、MLCC業界のトレンドに応え続けていく

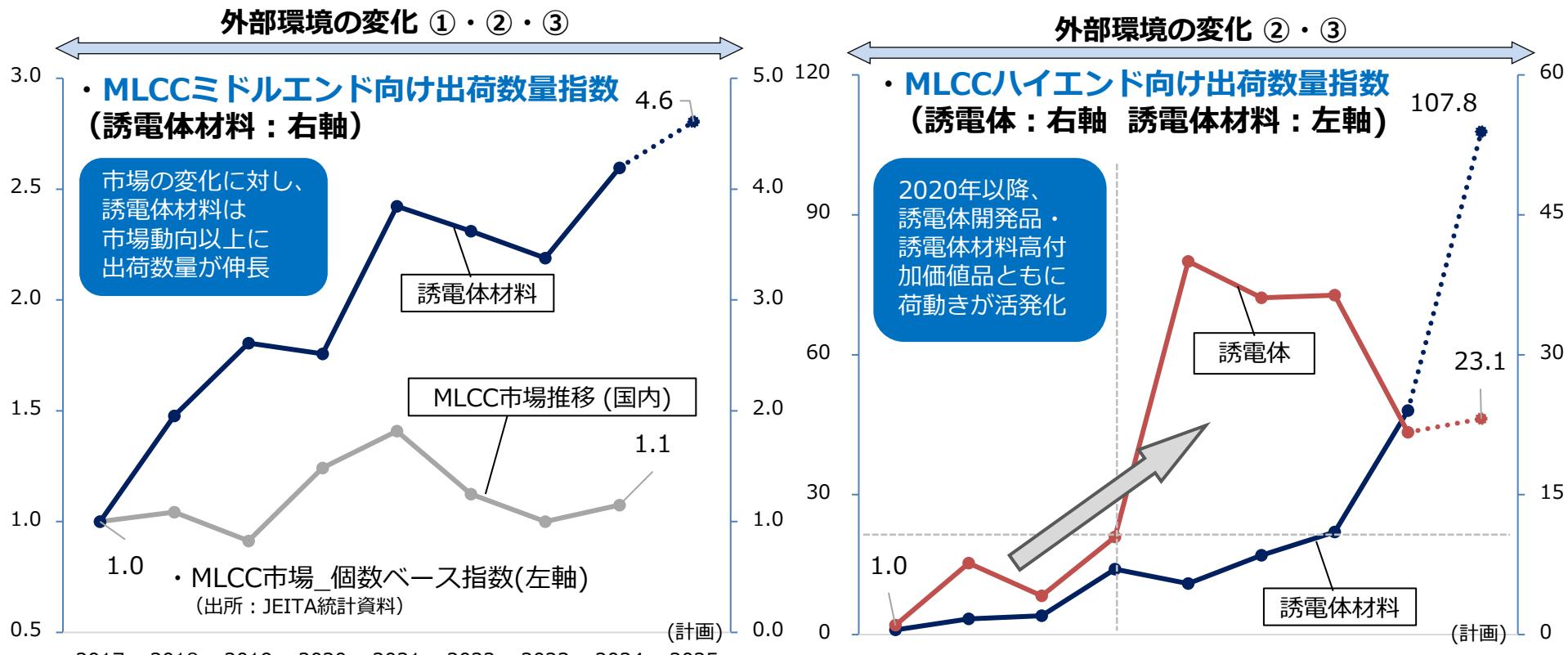
誘電体

誘電体材料



市場の動向 × 当社/電子材料事業の強み

強みである粉体プロセッシング技術を活かし、
市場ニーズを着実に捉えている



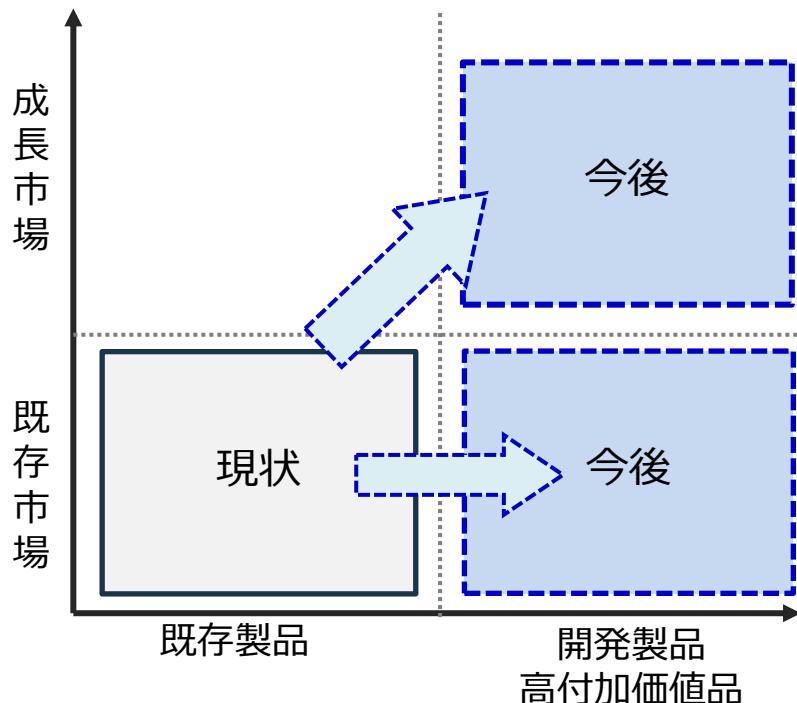
- ・変化①：電子デバイスの小型化 → MLCCの小型化
 - ・変化②：電子デバイスの高機能化(大容量化/高性能化) → MLCCの更なる小型化
 - ・変化③：新たな電子デバイスの台頭 → MLCCの更なる高品質化・高信頼性

電子材料事業の事業拡大のイメージ

【誘電体】と【誘電体材料】の両輪で、 中長期的な売上高の拡大を目指していく

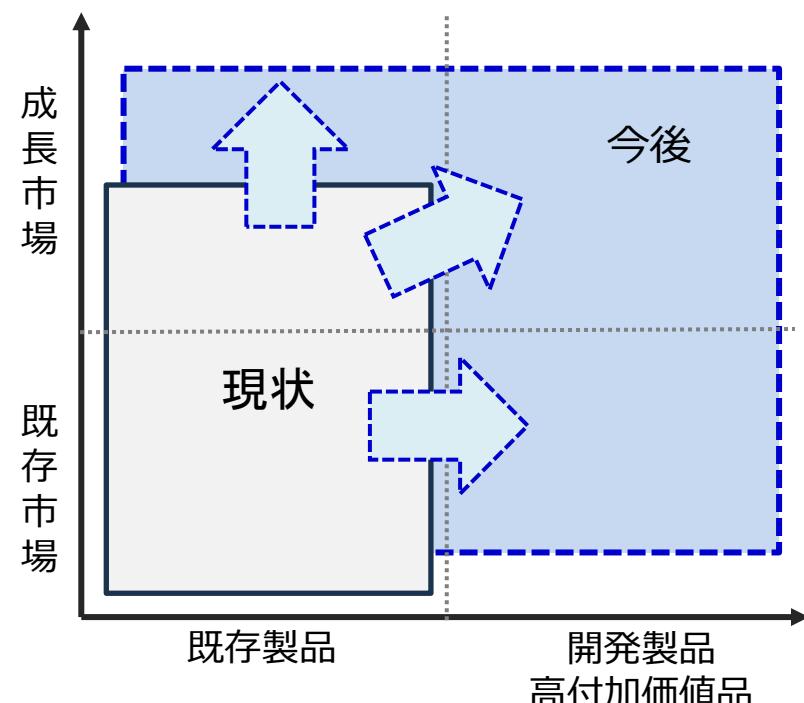
【誘電体】

より微細で均一性が求められる開発品を順次投入し、開発/高付加価値製品でのシェアを拡大させていく



【誘電体材料】

豊富な製品ラインナップを取り揃え、既存市場～成長市場を幅広くカバーし、シェアを拡大させていく



* 成長市場イメージ：AI関連 / 電気自動車関連など

既存市場イメージ：スマートフォン / 産業機器など

状況変化を踏まえた今後の戦略のまとめ

粉体プロセッシング技術を活かし、市場のトレンドに応え、
MLCCメーカーとの信頼を強固にしながら、シェアを高めていく

【誘電体】

MLCCのハイエンド品
向けシェアの拡大

【誘電体材料】
実績豊富な高信頼性の
製品を安定供給



信頼&シェア
の拡大

デバイスの高機能化
トレンドの更なる進行

新たな電子デバイスの
台頭

MLCC業界のトレンドを
着実にキャッチアップ

- ・限られたスペースで、更に小型化されたMLCCが必要
→より微細で均一な粒子の材料需要が高まる
- ・水熱合成法の強みを活かす
 - 粒子の均一性
 - 粒子の細かさ

- ・AIデータサーバーの増加や自動車の電動化/電装化の進行
→高品質で信頼性の高い材料需要が高まる
- ・実績豊富な幅広い製品群を活かす

- ・エレクトロニクス分野にて、高度情報社会の発展に、粉体プロセッシング技術で応えていくことで、顧客からの信頼を向上させ、市場成長以上の成長を目指す

ご清聴ありがとうございました

本資料は、情報の提供を目的とし、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいるため、実際の業績はこれと異なる結果となる可能性があります。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願ひいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に依存して投資判断されることにより生じうるいかなる損失に関して、当社は責任を負いません。